授業科目　システム開発論

【担当教員名】	対象学年	3	対象学科	情報
近藤　正紀	開講時期	後期	必修選択	選択
	単位数	2	時間数	30

【ディプロマポリシーとの関連性】

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	○		○

【概要】
ユーザーの要求などに従って、コンピューターを中心とする情報処理システムを構築することをシステム開発という。

本講義では、システムの分析や設計、プログラミング、テストなどの開発手順に沿って、システム開発の方法論のうち、構造化設計技法について、随所に演習を実施しながら学習する。また、併せてオブジェクト指向開発の概要を学習する。

【学習目標】
システム開発、特にデータ中心設計の進め方について理解する。
システム開発の実際について理解する。

回数	授業計画・学習の主題	SBO番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	システム開発の概要		
2	分析・要求定義		
3	外部設計（1）		
4	外部設計（2）		
5	外部設計（3）		
6	外部設計（4）		
7	外部設計（5）		
8	演習		
9	内部設計（1）		
10	内部設計（2）		
11	内部設計（3）		
12	プログラム設計		
13	プログラミングとテスト（1）		
14	プログラミングとテスト（2）		
15	オブジェクト指向設計		

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格 他＞
教科書 （必ず購入する書籍）				
参考書	Composite/Structured Design	Glenford J. Myers	Litton Educational Publishing	1978
その他の資料				

【評価方法】
試験、課題提出状況、出席状況、受講態度によって総合的に評価する。

【履修上の留意点】
使用図書は未定であるが、講義時に参考図書を指定する。
シラバスの各回の内容については変更になる可能性があるので、その場合は講義時に変更後のシラバスを配布する。